



愛知県議会議員

桜井ひでき 主な公約とその取り組み

(2025年9月時点)

100%:実現、75%:実現に向け実行中、50%:実現に向け計画中、25%:調査中、0%:動きなし

大分類	取組みテーマ	テーマに対する取組み内容	進捗状況
次世代産業を育成し、新たな雇用を創出	●自動運転の実証実験の推進 ●ゼロエミッション自動車とインフラ整備 	◆STATION Aiと名古屋駅を自動運転車両で結ぶ定期運行を実施するほか、高速バスの自動運転化を目指す実証実験を実施。愛・地球博記念公園における園内バスの自動運転化を見据えた運行実証及び定期運行に向けた環境整備を実施 ◆水素ステーション整備に県独自の補助を実施(整備数35カ所) ◆FC商用車7,000台導入 ~2030年	75%
	●『ステーションAi』プロジェクトの推進	◆スタートアップの新たなアイデアとモノづくりの優れた技術との融合によるイノベーションを誘発し、産業の成長を拡大させるエコシステム形成の取組を一層強化	60%
働きながら子育て・介護が出来る社会の実現	●少子化対策	◆結婚を希望する男女の出会いサポート ◆低所得者への子育て支援 ◆様々な問題を抱える妊産婦への支援 ◆男性の育児休業取得を促進する中企業等への支援	50%
	●健康寿命を延伸するための生涯現役に向けたしくみづくり	◆健康長寿社会の実現に向け、超高齢社会の危機の克服を目指し「あいちデジタルヘルスプロジェクト」の立ち上げ	75%
交通事故・犯罪や災害から人を守る地域づくり	●災害に強いまちづくりの推進	◆一級河川矢作川「鵜の首」狭窄部改修の推進 ◆次世代高度情報通信ネットワーク整備	25%
	●警察力の強化	◆高橋交番の開設(2025年9月開所) 	100%
確かな将来につながる行財政改革	●あいち行革プラン2030『日本一元気な愛知』づくりを推進	◆交流可能な執務空間の整備等によるコミュニケーションの活性化、DX・業務効率化・行政サービスの向上、職員が力を発揮できる環境づくりなど、県全体の行財政改革の取組の推進	50%
わくわくする魅力的な愛知づくり	●あいち観光戦略	◆世界最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸」は愛知県で初の開催となり、来場者12万人以上が愛知県国際展示場を訪れた。地域一丸となって開催を支援し、愛知をはじめ中部北陸の魅力を発信した 	100%
	●リニア中央新幹線整備促進及び中部国際空港の将来構想に沿った整備促進	◆名古屋駅スーパーターミナル化の推進 ◆2本の滑走路の配置を目指し2段階に分けて整備	25%
	●第20回アジア競技大会第5回アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)	◆IGアリーナは、愛知・名古屋のシンボルとなる「世界トップレベルのグローバルアリーナ」として、民間のノウハウを最大限活用しながら運営。今後はBリーグ開幕やISUグランプリファイナル、TGCなどイベントを誘致し2026年9月に繋げる	75%

結婚支援の取組を積極的に推進します

結婚を希望する若者の出会いの場を創出するため、大規模婚活イベントを開催すると共に、民間の非営利団体が開催する婚活イベントへの補助や、マッチング支援などを行う結婚支援センターの運営により、結婚支援の取組を強化します。

県・民間による出会いの機会の提供

1 県主催大規模婚活イベントの開催

- ◆日程◆ 2025年6月
- ◆場所◆ 愛・地球博記念公園
- ◆参加者◆ 県内在住・在学・在勤の
20歳以上40歳未満の独身者400人

2 民間婚活イベントへの補助

- ◆対象◆ 出会い応援団（非営利団体に限る）が実施する
定員10名以上の婚活イベント
- ◆対象団体数◆ 25団体
- ◆補助額◆ 1団体20万円（上限）

「モリコロパークde大規模婚活2024」
(2025年6月14日(土)開催)



マッチング支援・成婚までの伴走型支援

1 オンライン型結婚支援センターの運営

2024年11月に開設した「あいち結婚サポートセンター」において、AIマッチングシステムを活用したマッチングを行うとともに、マッチングから交際、成婚に至るまで、オンライン相談による伴走型支援を行う。

2 結婚支援コンシェルジュによる市町村等の取組支援等

結婚支援コンシェルジュによる市町村等の結婚支援の取組への働きかけ、サポートを行う。

モリコロパーク de
大規模婚活 10/25

オンライン相談

きめ細かいサポート

AIマッチングシステム
・相手に求める条件や自身の情報をシステムに登録
・価値観診断テストを受検
→相性の良い相手を紹介

対面出張登録・相談会
入会サポート

交際

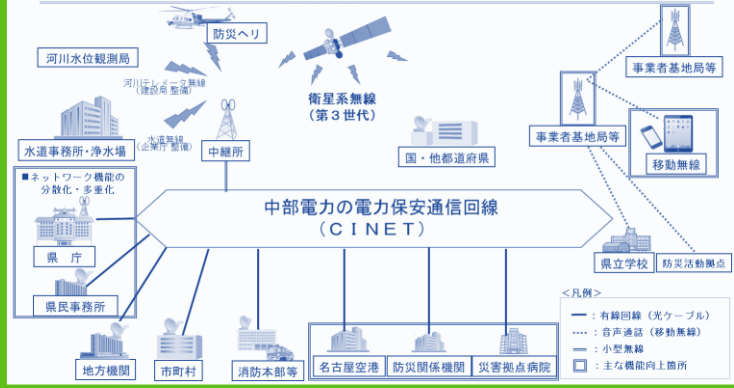
成婚



次世代高度情報通信ネットワークの整備を進めます

災害時において、県や市町村、防災関係機関等における防災行政情報の円滑かつ効率的な通信を確保するため、次世代高度情報通信ネットワークの整備を進めます。

次世代高度情報通信ネットワーク概念図



【事業内容】

2002年12月（衛星系は2004年4月）から運用中の高度情報通信ネットワークの更新整備を3か年工事により実施

【スケジュール】

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	県整備工事	市町村等整備工事	全面開始運用

【次世代高度情報ネットワークの特徴】

- ・メイン回線を地上系無線から高信頼度の民営回線への転換を図り、衛星系無線のバックアップによる2系統のネットワークを構築
- ・民営回線は、中部電力が保有する電気保安用通信回線（CINET）を賃借

先進的な技術等を持つスタートアップを活用し、市町村のまちづくりを支援

様々な地域課題を抱える市町村と、先進技術やサービスを持つスタートアップ等とをマッチングするとともに、事業化に向けた実証実験を行うことにより、市町村のまちづくりを支援します。

1. スタートアップ等とのマッチング等を支援

- ・市町村の持つ地域課題の整理及び深掘り
- ・ガバメントピッチの開催
- ・提案のあったスタートアップ等と市町村とのマッチング
- ・実証実験に向けた事業計画策定

2. 実証実験の実施を支援

- ・市町村とスタートアップ等からなる共同事業体選定（5団体程度）
- ・実証実験の実施
- ・成果報告会の開催

ガバメントピッチとは…
自治体が企業等に対して地域課題を発表し、企業等から課題解決策の提案を募るイベント

